

熊本県学校事務研究協議会

平成19年度 第3回 理事会議事録

平成20年1月18日(金) 於：熊本県青年会館

出席者 会長：川上 事務局長：坂本 研究部長：藤本（午後退席）
理事：久保田（荒玉） 鶴田（鹿本） 岩木（菊池） 土井（阿蘇） 熊本（藤川） 中原（上益城）
平木（八代） 田中（宇城） 苗床（人球） 大窪（水芦） 荒木（天草）

※熊本県教育公務員弘済会研究助成金交付式

I 開 会

II 会長挨拶

III 経過報告

理事会資料経過報告に12/26 第2回会長選考委員会を追加。

（議長選出） ローテーションにより天草地区・荒木理事を選出

IV 議 事

i 今年度（第33回）大会の反省と総括

川上会長より大会の基本総括

1 運営面全体

- ①会員の参加者による会費のみでは運営できないのが現状であり、県外からの参加があつて会計が成り立っている現実がある。大会会計の実態について、現状を理事、役員全員で共通理解。
- ②総会の速記録（議事録）を作成するように。→ 事務局で作成。
- ③今大会より後援に県P連が入った。今後も続けていきたい。

運営面全体については上記①～③のとおり確認

2 全体研究会について

- ①研究部より全体研究会のテープ起こしの資料の配布。
- ②午後「県行政説明」「全事研報告」「シンポジウム」の3本を入れ込むのは日程的に無理があつたのではないか。

②については次年度の計画では考慮することを確認

3 各分科会の総括と反省

- ①分科会助言者の選任、助言者との打ち合わせ等について→密に連絡を取る。
- ②分科会会場（鶴屋カーネーションホール）のプロジェクター使用は不向きなので考慮を要する。
- ③分科会場の変更について→事前連絡の徹底。

上記①～③のとおり確認

ii 次年度（第34回）大会について

次年度の大会期日および現在の借用施設について

- ①11月11(火)～12日(水)の予定で計画。
- ②パレアホールは仮予約済み。
- ③鶴屋ホールについては改装の関係で仮予約は済んでいない → 3月に事務局で確認する。

上記①～③のとおり確認

iii 「学校事務必携」の作成について

アンケート結果について説明 → アンケート結果はHPに掲載する。

- ①次年度も現行のB5版のまま。
- ②職員一覧・手当一覧等個人情報に関する部分は削除し、その部分はHPに掲載し利用者がダウンロードして使用するよう改める。

上記①～②のとおり確認

iv その他協議事項

(1) 全事研セミナーについて

申込者が複数名だったため抽選 → 八代地区大井さんに決定

(2) 各地区共同実施の法整備状況について

各地区の進捗状況等（各地区理事より）

- ・荒玉：12月に全地区の代表者を集めて話し合った。7月に地教委に荒玉版を配ったが、地教委からの回答は大きく食い違っている。「支援室」という言葉を入れるのは無理のようである。認定権も校長委任は難しく専決権のみとなりそうである。「共同実施勤務表」等の形式は学校へ任

せる意向のようである。

- ・鹿本：具体的にはまだ何もでていない。
- ・菊池：4市町の地教委ではあまり進んでいない。事務職員会の方から働きかけていきたい。
- ・阿蘇：「支援室」「認定権」ともに難しい状況。各町村で取り組んでいる。
- ・熊本：9月に諸規程の要望書を提出。12/14に市教委案が出され、12/19及び1/11の2回、市事務研、及び関係組織の代表者と市教委とで検討会が持たれた。
- ・上益城：9月に各地教委に配ったがまだ動いていないようである。
- ・宇城：宇城市は進んでいるようである。富合町は熊本市に合併するので何もしていないし、城南町も21年度に合併予定なので動いていないようである。
- ・八代：事務研案として提出しているが、まだ動きがない。2月の委員会では職階制について話したいと思っている。認定権に関しては、会員の年齢が低く経験も浅いので、専決権で十分であると思う。
- ・人球：あさぎり町の魚住さんの資料を各町村へ出してある。
- ・水芦：水俣・津奈木町は提出しているが、芦北町は何もしていない。
- ・天草：天草市は2月に決定予定である。苓北町は全く手をつけていない。学校間が離れていて、共同実施勤務表の印鑑をもらうのが大変なので、事務職員からの要望にできるだけ添うようにしていただいている。

各地区の進捗状況については3月理事会で再度確認することとする

(3) 県大会開催期日について

事務局長より各地区の調査結果が出された。

過去にも議論されたことであるが、現在も会員の意見にバラツキがあり、意見集約は難しい。

当面は様子を見ながら現行通りとすることを確認

(4) 全事研福岡大会分科会発表について

研究部長より進捗状況及び全体構想の説明。

- ①テーマ「学校裁量権の拡大と学校財務制度」とし、研究部で取り組むが各地区の協力も適宜お願いしたい。
- ②全国大会発表に伴う旅費等の経費については「必携」の特別会計80万円から支出してはどうかとの予備提案があった。

①については上記のとおり確認、②については次回の理事会で具体的な検討を行う。

(5) 学校組織マネジメント研修について

研究部より2月15日に佐賀の古川氏を講師に招いて「学校組織マネジメント」研修会を行うことの提案がある。

- ①研究部員のみではなく理事・事務局員を含めた役員研修会とする。今後は役員研修を計画的に行っていくようにしたい。
- ②当日の旅費は一般会計の中から支出する。
- ③当日出席できない理事については代理出席を認める。但し旅費額については本来の出席者の旅費を上限とする。

上記①～③のとおり承認

(議長解任)

V その他連絡事項等

(1) 表彰状文面について (川上会長より)

文面・文言等については次の理事会までに検討してきていただきたい。

(2) 標準職務表について (坂本事務局長より)

窓口である学校人事課給与班に要望していたが、係である小中人事班にも話しをしていく必要があるということで、要望をおこなった。今後も粘り強く要望していきたい。

(3) 旅費ソフトモニター選出の件について

県教委学校人事課より県事務研からモニター(3名)の選出依頼 → 熊本市以外の事務局・研究部員より八代:大井、天草:阿部、人球:福永の3名を選出した。

(4) その他

2月20日 県下の共同実施主任を招集して会議がある予定。

次回理事会 20年3月4日～6日で調整

VI 閉 会